

講座名（専門科目名）	脳神経外科	教授氏名	貴島 晴彦
学生への指導方針	<p>当講座では、脳循環代謝学、脳腫瘍学、神経生理学、画像診断学、再生医学、脳機能解析学など様々な分野で新たな知見を見出すべく日夜努力を続けています。</p> <p>大学院生の皆さんには、各研究分野の指導医のもと、基礎的な研究に加えて臨床研究や臨床活動にも参加してもらい、幅広い視野で研究を進めてもらえるように配慮しています。</p> <p>また、研究テーマを決定する際には学生個人の意志を最大限尊重し、日々の研究活動においても自主性を重んじるようにしています。</p>		
学生に対する要望	<p>高いモチベーションを持ち続け、周りと協調しながら研究に取り組んでいただきたいと考えています。大学院の期間だけでなく、卒業後の自身の研究や仕事につながるような研究生生活を送っていただくことを期待します。</p>		
問合せ先	(Tel) 06-6879-3652 (Email) hajime@nsurg.med.osaka-u.ac.jp	担当者	中村 元
その他出願にあたっての注意事項等			

(以下教室紹介)

私たち大阪大学脳神経外科学講座では、**臨床からのニーズと研究からのシーズ**を結びつけるべく、「**臨床の視点を持った研究、そして、研究の視点を持った臨床**」の推進を心がけています。

当講座が研究対象としている分野は、神経科学、脳卒中、神経外傷、神経再生、脳腫瘍など多岐にわたり、当講座の大学院生には、「**分野ごとの枠にとらわれない自由な発想**」を求めています。最近では、基礎的な研究に加えて、臨床研究や橋渡し研究なども盛んに行っています。さらに、医学や生物学の様々な領域に跨る横断的な研究、あるいは数理工学に代表される他領域の英知を用いた研究も展開しています。

臨床面では、講座開設以降、「その時代の脳神経外科が担うべき業務を幅広くカバーし、時代のニーズに応じてその範囲を広げる」ことを当科の理念としています。今後も「**高度な医療を幅広い分野で提供する**」ために、様々な疾患に対して様々な手法や技術を用いてアプローチしていきたいと考えています。

大阪大学の脳神経外科学講座はまもなく開設 50 周年を迎えます。「**創造する脳神経外科**」をキャッチフレーズにしています。先達により蓄積された研究手法や診療技術をさらに発展させるために、多くの大学院生が入学されることを期待しています。